

社会資本整備審議会 道路分科会 第1回東北・北陸地方合同小委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成23年9月15日(木) 10:00~12:00
2. 場 所 北陸地方整備局 4階 供用会議室
3. 出席者

[委員長]

まるやま きゅういち  
丸山 久一 長岡技術科学大学 環境・建設系 教授

[東北委員] 敬称略・五十音順

おおいづみ た ゆ こ (財)東北活性化研究センター 調査研究部部長兼主席研究員  
大泉 太由子  
かがや そういち 酒田商工会議所青年部 会員  
加賀谷 聡一  
きむら かずひろ 秋田大学工学資源学部 教授  
木村 一裕  
ふくさく まさゆき 東日本国際大学経済情報学部 教授  
福迫 昌之

[北陸委員] 敬称略・五十音順

おおかわ ひでお 新潟大学工学部建設学科 教授  
大川 秀雄  
さの か ず し 長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授  
佐野 可寸志  
ながお はるあき 富山国際大学 現代社会学部 現代社会学科 教授  
長尾 治明  
なかやま しょういちろう 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 准教授  
中山 晶一朗  
まるやま ゆ か (有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役  
丸山 結香

4. 議 事 内 容

○審議結果

議題(1)

- ・東北地方小委員会運営規則(改正案)及び北陸地方小委員運営規則(改正案)について事務局より説明後、了承された。

議題(2)

○日本海沿岸東北自動車道(朝日~温海)の計画段階評価(試行)について

- ・地域や道路交通の状況と課題
- ・政策目標の設定、
- ・整備方針(ルート帯案)

などについて事務局より説明後、審議を行い、意見を頂いた。

○日本海沿岸東北自動車道ワーキンググループについて

- ・ワーキンググループの設置について、了承された。
- ・委員長には大川委員、委員には加賀谷委員、丸山(結)委員が指名され、了承された。

## 5. 主な意見

- 政策目標については、B/Cにこだわり過ぎているような気がするので、定量化をどう表すかは色々難しいが、ある程度目標を持つように工夫して頂きたい。
- ルート帯選定にあたって、コストが1番安ければ良いのではなく、どのような目的とするかや、地域特性を踏まえて何を1番と考えるのか、どのような機能を持たせるのか等を検討して頂きたい。
- 産業基盤としての道路のあり方を改めて考える必要がある。
- 東日本大震災で日本海側から物資支援が来たことは非常に心強かった。その経験から、日本海側と太平洋側を結ぶルートだけでなく、沿岸部の国土の縦軸の道路が非常に重要だと思う。道路はミッシングリンクであっては意味がない、線として繋げていかなければならない。
- 観光においては、日本海側で観光の拠点をつくるということも東北の将来を繋ぐという意味で大切。
- 道路整備にあたっては、救急医療のように、「命をつなぐ道」という観点も大事であるが、津波等の災害時に、地域の人が避難するという「命を守る道」という観点も非常に大事。
- 北東アジア交流圏からの観光客においては、道路整備によって、当該地域は十分に滞在型の観光圏となりうる。
- 日本海側拠点港湾については各港、数値的な根拠や戦略的な目標も出されているので、これを参考にすれば、例えば新潟県の将来像にもあるような「北東アジア交流圏の表玄関」というものを具体的に示すことが出来ると思う。
- 政策目標が5つあるが、優先順位があるのか全て並列なのかが不明である。
- 政策目標の「最短時間で結ぶ災害に強い物流経路の確保」については、国全体のネットワークの観点から時間が短くなるということが指標なり目標であり、それが達成されれば良いということなのかが明確でないため、この経路を確保することによって、どのような経済効果が見込まれるとか、どこでどういうメリットが生じるのか等を検討されたい。
- 観光については、道路整備することによってどのような周遊が見込まれるか等の効果を示すことが出来ないか検討頂きたい。
- 日本海側は中国・ロシア・韓国等の貿易という観点から、物流面で非常に重要。
- 国としての骨格たる道路をどうあるべきか考えることが非常に重要。加えて、地域の住民の意見を十分に踏まえ、最善の案を探っていくことも非常に重要。
- ルート沿線の集落にどれくらい人が住んでいるかが余り考慮されていないのではないか。府屋とか勝木とかは比較的人口が多いのでその辺も考慮して検討して頂きたい。
- 将来的にも4車線を建設するために必要な交通量が想定されない場合は、安全上問題が多い暫定2車線では建設しない方がよい。
- 東海北陸道の経験では、道路が便利になるほど日帰り観光客が増えるというデータが出ている。道路整備によって滞在型観光を増やすというのはかなり難しいと思う。滞在型観光を増やすのはソフトの部分や地域の工夫である。ソフト的な仕掛けを地元で考えてもらう働きかけが必要になってくる。

- 3ルートについては、どのような工夫によってどれだけコスト削減が得られるとか、環境資源との共生との間でどのような工夫を試みるとか、他ルートとは違った資源共生や経費削減、安全性の向上等のポイントを示す必要があると考える。特にコスト削減は大きなポイントになっているのでしっかり打ち出すべき。
- 政策目標から言えば、物流の確保という視点がかかなり優先されると思う。この道路にどのような機能を持たせて、どういった使い方をしていくかを考えるべき。
- 地域の課題はよくわかったが、太平洋側を走っている車がどれだけ転換するかやJR貨物からの転換がどれくらいあるのか、日本全国ネットワーク全体としての影響や便益等の大きな視点でのまとめ方を検討された方が良いと思う。
- ルート帯決定にあたり、リダンダンシーや信頼性という観点から、国道7号と日沿道が並行しているが、災害時に両方が被災するリスクも検討頂きたい。
- リーズナブルな予算で最大限の効果を上げていくという視点で、この地域での効果と日本の国土全体的な効果の両方を検証していくべき。
- 東北圏全体としてどのように交流または連携していくかという戦略的な視点を持って道路づくりをしていかなければならない。